

※コンクリートブロック塀の場合は、この点検表に記入してください。

点 検 表（ブロック塀の場合）

塀の高さが 2.2m 以上の場合に塗り
つぶしてください。

申請者 ○ ○ ○ ○

点検日 令和○○年 ○月○○日

わからない項目は記入不要です。

点検項目	内容	該当の有無	備考
塀の高さ	2.2m を超えている。	☒ 該当 ☐ 非該当	道路面からの高さ
塀の厚さ	10 c m 未満 15 c m 未満（塀の高 さが 2m 超える場合）	☐ 該当 ☒ 非該当	
控え壁 ブロック塀の背面 に設置された支え 壁のことです。	塀の長さ 3.4m 以下 ごとに、高さの 1/5 以上の突出した控え 壁がない。	☐ 該当 ☒ 非該当	塀の高さが 1.2m を 超える場合
基礎がない	コンクリート基礎	☐ 該当 ☐ 非該当	
土留めを使用してい る	ブロック塀を土留と して使用している。	☐ 該当 ☐ 非該当	道路と敷地の高さの 差が 4 0 c m を超え る場合
塀の下の擁壁	擁壁の上にブロック 塀がある。	☐ 該当 ☐ 非該当	
積み増しの有無	過去に積み増しの経 緯がある。	☐ 該当 ☐ 非該当	既設の塀の上に、更 に設置した場合
塀の傾き	目視範囲で傾きがあ る。	☐ 該当 ☐ 非該当	
塀のひび割れ	目視範囲でひび割れ がある。	☐ 該当 ☐ 非該当	
塀のぐらつき	手で押す程度でぐら つきがある。	☐ 該当 ☐ 非該当	

該当の有無にレ点入れてください。該当にレ点が 1 項目以上であれば補助対象となります。
不明の場合はレ点を記入する必要はありません。

ブロック塀のぐらつき点検は、十分に気を付けて
実施してください。無理をする必要ありません。

※点検項目と内容を読んで、わかるところのみ記入してください。

※わからない項目は記入不要です。

※大谷石積塀や組積塀の場合は、この点検表に記入してください。

点 検 表（石積塀の場合）

申請者 ○ ○ ○ ○

点検日 令和○○年 ○月○○日

塀の高さが 1.2mを超える場合に塗りつぶしてください。

わからない項目は記入不要です。

点検項目	内容	該当の有無	備考
塀の高さ	1.2mを超えている。	■該当 □非該当	道路面からの高さ
塀の厚さ	高さの 1/10 未満	□該当 ■非該当	
控え壁	塀の長さが 4m以下 ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上の突出し た控え壁がない。	□該当 ■非該当	
基礎がない	コンクリート基礎	□該当 □非該当	
土留めの有無	石積塀を土留として 使用している。	□該当 □非該当	道路と敷地の高さの 差が 40cmを超える 場合
塀の下の擁壁	擁壁の上に石積塀が ある。	□該当 □非該当	
積み増しの有無	過去に積み増しの経 緯がある。	□該当 □非該当	既設の塀の上に、更 に設置した場合
塀の傾き	目視範囲で傾きがあ る。	□該当 □非該当	
塀のひび割れ	目視範囲でひび割れ がある。	□該当 □非該当	
塀のぐらつき	手で押す程度でぐら つきがある。	□該当 □非該当	

該当の有無にレ点入れてください。該当にレ点が 1 項目以上であれば補助対象となります。
不明の場合はレ点を記入する必要はありません。

石積塀のぐらつき点検は、十分に気を付けて
実施してください。無理をする必要ありません。

※点検項目と内容を読んで、わかるところのみ記入してください。

※わからない項目は記入不要です。

万年堀の場合は、この点検表に記入してください。

点 検 表（万年堀の場合）

申請者 ○ ○ ○ ○

点検日 令和○○年 ○月○○日

わからない項目は記入不要です。

点検項目	内容	該当の有無	備考
堀の傾き	目視範囲で傾きがある。	☒ 該当 ☐ 非該当	
堀のひび割れ	目視範囲でひび割れがある。	☐ 該当 ☐ 非該当	
堀のぐらつき	手で押す程度でぐらつきがある。	☐ 該当 ☐ 非該当	

該当の有無にレ点入れてください。該当にレ点が1項目以上であれば補助対象となります。
不明の場合はレ点を記入する必要はありません。

万年堀のぐらつき点検は、十分に気を付けて
実施してください。無理をする必要はありません。

※点検項目と内容を読んで、わかるところのみ記入してください。

※わからない項目は記入不要です。